

I 教育目標並びに教育方針

1 教育目標

校訓「らしくあれ」を基底とし、学校・家庭・地域が協働する中、三あい（学びあい、鍛えあい、育ちあい）により、人間性豊かな、強くたくましい生徒の育成に努める。

2 教育方針

校訓 「らしくあれ」

本校区の古刹永光寺に「柳ハ緑、華ハ紅ナリ」と記した襖書（山岡鉄舟書・市指定文化財）があり、その中の禅の金剛經の「目前ニ法無シ、柳緑華紅ノ教ヘニ従フノミ」に由来する。

物事に自然の理があり、あるべき姿の希求こそ永久不変の真理であることを示している。即ち、生徒は生徒らしく、教師は教師らしくの意であり、これへの希求こそ教育の基本理念と考える。

(1) めざす生徒像

- つくす・・・「何か・誰か」のためにがんばる生徒
- つたえる・・・親身になって伝え合う生徒
- つながる・・・仲間と力を合わせて活動する生徒

(2) めざす教師像

- 学校生活や社会に役立ち、心を豊かにする教師
- 一人一人の生徒に、目をかけ、心をかけ、語りかける教師
- 生徒・保護者・地域から信頼される教師

(3) めざす授業像

- ねらい達成に向けてともに変容を生み出す授業
- 一人一人が意見や考えを受け止めて聞く授業
- 仲間の意見や考えを基に自分の考えを深める授業

(4) 今年度の重点

推進のキーワード；「考動力」の育成

自ら未来を切り拓き、社会で活躍するための素地となる「考動力（状況を見つめ、自ら考え、動き出す力）」の育成に努める。

ア 豊かな心の教育（道徳教育）の推進

自分を見つめ、共に支え合う生徒の育成及び安心して学びに向かうことができる環境づくり

イ ふるさと学習

地域理解を深め、ふるさとに貢献するシチズンシップ（市民意識）の育成

ウ 学力の保障・向上（効果的なＩＣＴ活用）

授業改善、読書活動、英語教育、デジタル教育等において、確かな学力及び探究的な学びの充実

エ 小中連携

積極的な連携により、学びの連續性・深化を意識した取組の充実

オ 働き方の見直し

教職員が心身共に健康で、やりがいをもちながら、着実に業務ができる環境整備

3 努力点

第3期石川の教育振興基本計画、『改訂 いしかわ学びの指針12か条【学びの12か条+】』と羽咋市『学校教育の指導指針』を基本とし、全教職員の共通理解のもと、邑知中学校教育目標達成ならびに身につけさせたい資質能力の育成に向け、以下の項目の努力点とする。

(1) 特色ある学校づくり

新学習指導要領に基づき、よき伝統は継承しつつ、未来を見据えた創意と工夫のある教育課程を編成する。

ア 能動的な協働による効率的な学校運営を図る組織の確立と推進

イ 校訓「らしくあれ」の理念を踏まえた心の教育を基盤とした教育活動の推進

- ウ 地域と学校の実態をふまえ、地域の特色を活かした創意と工夫のある教育活動の推進
- エ G I G Aスクール構想及び深い学びの実現に向けたI C Tの積極活用
- オ 小・中の連携を深め、9ヶ年を見据えた学びの推進
- カ 働き方改革の推進と業務の平準化により、時間外勤務のさらなる縮減

(2) 学校研究の推進

『改訂 いしかわ学びの指針12か条【学びの12か条+】』の具現化を図り、R-P D C Aに基づいた実践・検証に努める。

- ア 物事を多様な観点から考察する力の育成（活用力を高める授業づくり 1）
- イ 主体的な問題解決のための効果的なI C T活用の促進（学力・学習を支える基盤づくり 7）
- ウ 家族や地域の人々とのコミュニケーションを大切にし、家庭・地域・社会と結び付いた開かれた教育課程の推進（学力・学習を支える基盤づくり 9）
- エ 現状把握に基づき、取組の実施・評価・改善を図る指導体制の確立（指導改善を進める体制づくり 11）

(3) 心の教育と生徒指導の推進

道徳の重点項目を「思いやり・感謝」（1年）「相互理解、寛容」（2年）「よりよく生きる喜び」

（3年）とし、道徳教育推進教師を中心に全教育活動を通して心の教育を推進する。

- ア 重点項目を中心とした道徳的な判断力、実践意欲や態度の育成
- イ 自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方につなげて深く考える力の育成
- ウ 自己存在感・有用感を高め、主体的に判断する力や他者と共によりよく生きようとする力の育成

(4) 生徒会活動の推進

生徒会スローガン「めざせ！地域の一番校」のもと、一致団結した生徒会活動を推進し、主体性の育成に努める。

- ア あいさつ運動や共感的理解の充実を図る取組を軸にし、主体性を育む生徒会活動の推進
- イ 家庭や地域と連携したボランティア活動や地域貢献活動の推進
- ウ 家庭・地域と連携した学校祭（邑中祭）の開催

(5) 豊かな自己実現をめざすキャリア教育の推進

将来の生き方を考える態度や自らの進路を適切に選択する能力の系統的な育成に努める。

- ア 3年間を見越した進路指導体制の確立
- イ 体験的な学習活動を取り入れた進路指導の推進とその工夫・改善への取組
- ウ 社会の在り方や自己の生き方を見据えた進路選択の力の育成

(6) 健全な身体づくり

健康・安全に気を配り、心身の健康づくりに努める。

- ア 教育活動全体を通した健康教育の計画と実践
- イ 部活動の教育的意義を生かし、個々の生徒の特性に応じた部活動参加の推進
- ウ 望ましい食生活の指導と清潔・安全で楽しい学校給食の運営

(7) 特別支援教育の充実

個々の特性に応じた合理的配慮の充実に努める。

- ア 気になる生徒の正しい理解・認識ときめ細かな就学指導
- イ 気になる生徒の適切な指導計画の作成と指導法の工夫

(8) 安全、安心な学校環境づくり

安心して教育活動に取り組める学校環境づくりに努める。

- ア 創意と工夫による学校施設・設備・備品の有効活用
- イ 危険防止のための定期的な校舎内外の点検、パトロールの実施

(9) 地域に学び、ふるさとを愛するとともにグローバル化に対応した人づくり

家庭・地域と連携し、探究的なふるさと学習を推進する。

- ア 自らの家庭・地域の理解を深め、ふるさとに貢献するシチズンシップの育成
- イ 地域の教育力を活用したふるさと学習（総合的な学習の時間や邑知検定）及び地域の課題解決に向けた取組の推進
- ウ 地域の保育所・小学校・高等学校との連携と交流
- エ A L Tの活用と国際理解教育の推進と充実